

カヤ人工植栽試験

釜谷国有林 596ら2、ら3林小班 0.33ha

碁盤等の特殊用途に使用されるカヤは、植栽による育成技術が確立されていないため、平成6年度に50%択伐したスギ造林地内（上層木は、遺伝子保存林で昭和5年度更新）に樹下植栽を行い、複層林施業によるカヤ育成技術を開発しています。

種子は新見市哲多町で採取したものを扱い、民間委託により苗木養成を行いました。その後、平成6年度に苗木を1,000本（3,000本/ha）植栽し、カヤの成長に適した環境を明らかにするため、成長量調査と相対照度を測定しています。

林内相対照度は年々低下していますが、耐陰性の強いカヤはスギ上層木の庇陰下でも成長を続けています。

碁盤等の特殊用材として利用できるには林齢250年以上からと言われており、定期的に調査を続けていく予定です。



平成17年(2005)撮影



平成24年(2012)撮影



平成29年(2017)撮影